

【学習の目標と学習方法】

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

<p><b>○授業について○</b> *授業は作業を中心に行われる。授業の最初に作業の説明をするのでどこがポイントなのか話をしっかり聞いて作業に入れるようにしよう。 *作業や作品の出来具合をチェックするが手先が器用かどうかで点数が決まるわけではない。正確かつ丁寧に作業を進めることが大切である。 諦めず最後まで頑張って作業に取り組むこと。</p> <p><b>○生徒の心得○</b> *実技を中心に行うので、必ず持ち物を揃えておくこと。説明の時や作業のポイントを確認する時など忘れ物があると確認することができない場合がある。 *分からないことがある場合は、質問しよう。作業は安全第一である。</p>	<p><b>○家庭学習について○</b> *技術が普段の生活でどのように活用され、重要か意識して生活をする。</p> <p><b>○試験前はこうに取り組もう○</b> *授業中に学習するプリントやハンドノート、教科書の内容から出題されるので、そこを中心に覚えるようにすること。また、授業中に行った作業でポイントになっている部分や注意点などについてもしっかり理解しておくことが大切。</p>		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
		評価観点	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を身につける。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につける。
		評価資料	授業観察 作業方法 学習プリント・ノート 寿司打 定期テスト	授業観察 作業方法 学習プリント・ノート 寿司打 定期テスト	授業観察 作業方法 学習プリント・ノート 寿司打 定期テスト

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35h		
	ガイダンス 3h	材料と加工法5h			製作品の設計 7h			けがき	切断	部品加工	接合用 けがき	接合		表面 加工	塗装 仕上げ
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35h		
	生物育成について 作物の栽培 7h				デジタル作品の製作 8h				エネルギー変換 利用と保守点検 7h 電気製品の制作 8h					PCの基本操作2 7h	
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計17h		
	プログラムによる計測・制御 8h						表計算処理ソフトウェアの活用 8h				評価・活用 2h				